



## トップニュース：ご近所訪問 「高岡・新湊市」 - 万葉線 -

わが福井では間もなくLRVが入線しますが、今回は、LRV導入では北陸のトップを切った富山県の高岡・新湊市をつなぐ万葉線にスポットを当てます。ご存知のように、万葉線は存廃問題を高岡・新湊市の多くの市民の存続運動によってクリアしました。そのあと、路盤を補修し、超低床LRV・アイトラムを導入し、運賃を18%下げ、現在は電停の改修に取り掛かっています。存続以降、行政の乗る仕組みづくりと沿線住民のマイレール意識の向上、県内外の鉄道ファンのアイトラム詣で等によって順調に乗客を増やしています。加越能鉄道による経営の最後の2001年度に98万8000人に落ち込んでいた乗客数は2002年度に100万人を回復。2003年度は103万人、2004年度は106万人に増加し、2005年度も第1四半期の段階で前年度比103%となっています。万葉線は赤字を前提とした存続決定を行っていますが、既に近い将来の収支均衡も視野に入ってきています。万葉線は市民の意識の中に着実に根付いてきているようです。

アイトラムの導入には近代化補助が充てられ、国と地方の協調補助の地方分を県が、残りの事業者負担分を高岡市と新湊市が折半して負担しています。アイトラムは現在2編成存在し、その他は在来車によって運行されています。ちなみに、在来車の内2両は冷房化改造も行われました。今後の低床LRVの導入については、富山港線とのからみにより、また高岡の将来計画の中の微妙な問題(後述)もあってか？少々導入のスピードを落としているところです。その微妙な問題とは北陸新幹線の整備に伴う新幹線新高岡駅(仮称)へのアクセス問題です。北陸新幹線の新高岡駅は現高岡駅から1.5km南に建設され、城端線に新駅を設けてこれに接続させます。この城端線新駅(新高岡駅)と現高岡駅間の城端線に万葉線の電車を取り入れさせる話は結構多くの方が提案していますが、城端線が非電化であること、高岡駅構内が交流電化されていることにより、この構想は従来現実味をもって取り上げられることはありませんでした。しかし、路面電車と都市の未来を考える会・高岡(RACDA高岡)が、万葉線にバッテリーtramを導入し、この問題をクリアする具体的な提案をキャラバンにおいて行ったことから、地元の新聞・テレビがこれを取り上げ、高岡市長も「10年後までにはいろいろな技術も出てくる」と否定的ではないコメントをしていることから、実現が期待されるものです。

高岡市は、新幹線開業後の高岡を飛越能の交流拠点として位置づけています。その高岡市は11月に隣の福岡町と合併して人口18万4000人の新しい高岡市に移行します。新湊市も11月に射水郡4町村と合併して人口9万4000人の射水市に移行します。高岡市は万葉集の選者、大伴家持が国司として5年間赴任して多くの歌を詠んだ地として知られ、また歴史が古く戦災にも遭わなかったことから観光資源が豊富で、現在、観光の強化を謳っています。万葉線はその観光資源をつなぐ装置としても重視されています。(文：清水)

### 活動報告

- 8月28日 環境パートナーシップ会議参加
- 9月6日 中部地区路面電車サミット実行委員会
- 9月11日 県立大学行財政研究会参加
- 9月12日 山梨大学片谷研究室ヒアリング・懇親会
- 9月16日 福井市打ち合わせ
- 9月16日 中部地区路面電車サミット実行委員会
- 9月18日 MAP部会
- 9月16日 中部地区路面電車サミット実行委員会
- 9月30日(金)月例会・理事会

### 今後の予定

- 10月15日(土)北陸3県交流富山シンポジウム
- 10月27日(木)堺市まちづくりシンポジウム参加
- 10月28日(金)月例会・理事会
- 10月随時 LRT部会
- 10月随時 MAP部会
- 10月随時 中部地区路面電車サミット実行委員会
- 10月未定 県立大学行財政研究会参加

--	--

山梨大学工学部循環システム工学科 JSコロキウム交通分科会との交流会

日時：9月12日(月) 15:00~18:00~21:00~23:30

場所：福井大学 川上研究室

参加者：片谷 教孝、御園生 拓、豊木 博泰、伊藤 一帆、高橋 智子、清水 亮ほか2名

ROBA：川上 洋司、内田 桂嗣、清水 省吾、林 博、脇本 幹雄(懇)

懇親会：交流会終了後「赤茄子亭」(ターミナルホテル1F)

9月12日(月)福井大学工学部川上研究室において、意見交換会を行いました。交換会の主旨は、交通分科会の研究テーマ「持続可能な甲府盆地と交通のありかたを考える」のなかで、路面電車をはじめとする先進的な福井の交通システムを参考にしたい、福井での都市交通のあり方について目的や具体的な方法、その取り組みについて話を伺いたいということで、ROBAの活動経緯を含めて説明しながら意見交換を行いました。ROBAが「なぜ、どのようにしてできたのか」、ROBAが「地域に果たす役割は何か」、などについて質問が集中しました。向こうからの一方的な質問が時間の大半を占めましたが、自分たちが、当たり前前に活動していたことが、実は地域のまちづくりの中できわめて重要な意味を持つことが、再認識できた交換会だったと思います。

そのあと、いつもの赤茄子亭に場所を移してアルコールも交えながらの意見交換。ここからは脇本さんも参加して、わいわいとまちづくり談義。それでも話したりず(飲み足りず?)福井の旨い酒を飲みながら話の続きをと片町に繰り出しました。一本義山田錦と立山、そば職人(焼酎)。

そこで、気になっていたことを、皆さんの代わりに聞いてみました。

JS：循環システム(なーんだ) コロキウム：Colloquim：研究討論会

循環システム工学科とって、各分野から集まった新しい学科であることから、それを活かしているんなテーマについて研究討論する場を設けていこうということで作られたそうです。専門は、生物学、大気環境学、財政学、政治学、システム工学(物理学、数学)、都市計画・景観です。交通分科会は、都市環境工学科に交通専門のコースもあり専門家もいるが、それとはまた違った取り組みができるのじゃないかと話されていました。物理の分野からこられた方は蓄電池電車に興味を持っていましたし、社会工学の方は交通とまちづくりに関心がありました。それで、昼間の会議でいろんな質問ができたのか。なーるほど。

翌日は、県市やTMOで、3回目PT調査、トランジットモール社会実験、すまいるの運営などについてヒアリングし、意見交換されたそうです。酒臭かったでしょうね。(はやしや)

照ちゃんの気になるバス停・・・PARAT 3 開発 上り(福井市開発1丁目)下り(同2丁目)

8月11日の京福バス路線再編で新しくできたバス停です。町屋循環線と心臓センター行きが統合されたもので、ルートは福井駅前~裁判所前~江戸上町~町屋団地~開発~心臓センター。

私が勤務する会社から近く、勝山方面に行くときは必ず通過する所なので、このバス停を見つけたときは、驚きと嬉しさで複雑な気持ちでした。ただこのバス停は、越前開発駅(えちぜん鉄道)に近く、駅前に出るには利用しづらいかも。撮影後、駅前に戻るのに電車の利用しが頭に浮かばず、駅前行きのバスが横を通過したときは「ガビーン・・・乗れば良かった」と後悔しきり。

(写真上/上り 写真下/下り)



時刻	上り	下り
7:00	05	04
7:15	05	04
7:30	05	04
7:45	05	04
8:00	05	04
8:15	05	04
8:30	05	04
8:45	05	04
9:00	05	04
9:15	05	04
9:30	05	04
9:45	05	04
10:00	05	04
10:15	05	04
10:30	05	04
10:45	05	04
11:00	05	04
11:15	05	04
11:30	05	04
11:45	05	04
12:00	05	04
12:15	05	04
12:30	05	04
12:45	05	04
13:00	05	04
13:15	05	04
13:30	05	04
13:45	05	04
14:00	05	04
14:15	05	04
14:30	05	04
14:45	05	04
15:00	05	04
15:15	05	04
15:30	05	04
15:45	05	04
16:00	05	04
16:15	05	04
16:30	05	04
16:45	05	04
17:00	05	04
17:15	05	04
17:30	05	04
17:45	05	04
18:00	05	04
18:15	05	04
18:30	05	04
18:45	05	04
19:00	05	04
19:15	05	04
19:30	05	04
19:45	05	04
20:00	05	04
20:15	05	04
20:30	05	04
20:45	05	04
21:00	05	04
21:15	05	04
21:30	05	04
21:45	05	04
22:00	05	04
22:15	05	04
22:30	05	04
22:45	05	04
23:00	05	04
23:15	05	04
23:30	05	04



時刻	上り	下り
7:00	05	04
7:15	05	04
7:30	05	04
7:45	05	04
8:00	05	04
8:15	05	04
8:30	05	04
8:45	05	04
9:00	05	04
9:15	05	04
9:30	05	04
9:45	05	04
10:00	05	04
10:15	05	04
10:30	05	04
10:45	05	04
11:00	05	04
11:15	05	04
11:30	05	04
11:45	05	04
12:00	05	04
12:15	05	04
12:30	05	04
12:45	05	04
13:00	05	04
13:15	05	04
13:30	05	04
13:45	05	04
14:00	05	04
14:15	05	04
14:30	05	04
14:45	05	04
15:00	05	04
15:15	05	04
15:30	05	04
15:45	05	04
16:00	05	04
16:15	05	04
16:30	05	04
16:45	05	04
17:00	05	04
17:15	05	04
17:30	05	04
17:45	05	04
18:00	05	04
18:15	05	04
18:30	05	04
18:45	05	04
19:00	05	04
19:15	05	04
19:30	05	04
19:45	05	04
20:00	05	04
20:15	05	04
20:30	05	04
20:45	05	04
21:00	05	04
21:15	05	04
21:30	05	04
21:45	05	04
22:00	05	04
22:15	05	04
22:30	05	04
22:45	05	04
23:00	05	04
23:15	05	04
23:30	05	04

## 中部地区路面電車サミット情報

路面電車が街をつくる

人が中心の街づくりにむけて

をテーマに開催する福井大会のアウトラインがようやく固まってまいりました。

10月初旬には「試乗会」の応募も始まります。お知り合いの方にもご案内ください。

ごあいさつ

近年、各地の都市で路面電車・LRT の評価が高まる中、中部地区の路面電車がある都市の市民グループが連携し「中部地区路面電車サミット」を豊橋(2002)高岡(2003)岐阜(2004)で開催してきました。駅前電車通りの整備、低床車両への更新等、今後 LRT への進化が期待される福井で「路面電車が街をつくる - 人が中心の街づくりにむけて - 」をテーマに第 4 回中部地区路面電車サミットを開催します。

なお今大会は福井市まちづくりフェア 2005 の協賛プログラムとしても位置づけられ、サミット会議の他に一般市民の方向けの記念講演、シンポジウムを行います。また記念事業として来春から福武線に導入される車両(LRV)のお披露目試乗会に市民の方をご招待します。

開催概要

名称 第 4 回中部地区路面電車サミット 福井大会  
開催日 2005 年 11 月 19.20 日  
会場 響のホール他  
主催 ROBA  
開催協力 とよはし市電を愛する会、RACDA 高岡、  
万葉線を愛する会、岐阜未来研究団、  
富山県交通政策研究グループ  
協賛 福井市まちづくりフェア  
後援 福井県、福井市、中部運輸局、同福井運輸支局  
まちづくり福井(株)、えちぜん鉄道(株)、  
福井鉄道(株)、(財)地域環境研究所

スケジュール

11 月 19 日(土)  
12:00 LRV 試乗会  
15:30 福武線視察会(15:00 より受付)  
18:00 懇親会  
11 月 20 日(日)  
10:00 開場  
10:30 サミット会議  
12:00 休憩 (サミット団体代表者会議)  
13:00 記念講演会  
14:45 シンポジウム  
16:00 閉会

講師プロフィール

望月真一氏 アーバンデザイナー・都市計画家



1949 年生まれ  
1982 年早稲田大学院  
都市計画博士課程終了

フランス政府給費留学生として留学後、キャビネ・ミレー、AART インターナショナル・パリ等に勤務。

現在、(株)アトリエ UDI 都市設計研究所代表  
ヨーロッパカーフリーデー日本担当ナショナルコーディネーター

著書:「路面電車が街をつくる - 21 世紀フランスの都市づくり」  
鹿島出版会、2001 年など多数

プログラム

福武線新車両(LRV)試乗会

部分低床車 800 形で福井駅前 田原町を往復、3 便運行。  
一般を対象に抽選で 120 名をご招待。

(応募締め切り 10 月 30 日)

福武線視察会

開催協力団体を対象に 800 形で福井駅前 西武生を視察。  
車内または西武生車両基地で福井鉄道から改修計画・運行  
計画等の説明を受ける。

事前申込み & 参加費必要(福井鉄道 1 日券・¥500)

懇親会

講師の望月氏を囲んで、食事を兼ねた交流の場をつくり  
ます。事前申込み & 参加費必要

(会場未定・¥3000 程度を予定)

サミット会議

各地の路面電車の新たな動きやお互いの活動を報告しあ  
うことでそれぞれの成果を共有する。

来春新規開業する富山ライトレールの概要も報告予定。

一般参加歓迎。参加費無料。

記念講演

演題「路面電車が街をつくる」

望月真一氏

(ヨーロッパカーフリーデー日本担当ナショナルコーディネーター)

かつて廃止した路面電車を現代の路面電車として復活  
させ、都市の再生に成功しているフランスの事例のほか、  
その際行われる合意形成や工夫された運営方法も紹介。

シンポジウム

テーマ「人が中心の街づくりにむけて」

各地の事例を基にまちづくりの道具としての路面電車  
の活用法やそれに向けた進め方をパネルディスカッ  
ション形式で考える。

コーディネーター 川上洋司氏 福井大学教授

コメンテーター 望月真一氏 アーバンデザイナー

パネリスト (富山市の行政関係者)

まちづくりの道具として LRT を新設

(岐阜市の商業関係者)

予想以上だった路面電車廃止の影響

吉田千秋氏 万葉線(株)総務課

積極策で利用者増加中

内田桂嗣氏 ROBA 会長

利用者の目線からの実践と提案



来春開業する富山ライトレール

参考:中部地区の路面電車のある都市の状況

豊橋市

路面電車をまちのシンボルに位置づけ、豊橋駅前広場への延伸、  
センターポール化による景観整備をすすめる。本年岐阜から低床  
車を導入、商店街も出資して新電停を設けた。

岐阜市

本年 3 月市内線他 3 線が廃止され路線バスに代替されるが転換  
率は 5 割程度。中心街の衰退に拍車がかかり、中心部の百貨店 2  
店から撤退表明が出される。

高岡市

路面電車が走る国内では一番小さな都市。民間企業の撤退により  
3 セク化されてから低床車の導入、電停・路盤の改修など積極的  
に利便性・快適性向上に努め 2 年連続で利用者が増加中。

富山市

JR 富山港線を 3 セク化し高架化を取りやめ高架化の財源も利用  
し路面電車化。低床車の導入、新駅設置、多便化、バスとの連携  
など新機軸が盛り込まれ国内初の LRT 新設線として注目されて  
いる。富山ライトレールは来春開業予定。



## お知らせ

福井市の市政広報（9月10日号）の最初のページ（2, 3P）に「ふくい市民活動基金」に関する広報があります。これは、福井市が「市民活動を側面的支援するための基金」に寄付をお願いする記事ですが、ROBAは昨年度、今年度と2年連続この基金の支援先に選ばれています。そのこともあってか、のりのりマップが紙面の中で紹介されています。

これは、取りも直さずROBAの活動が、地域社会の課題に立ち向かっていることと、のりのりマップ事業が公益社会活動として認められていることの証であります。地域社会から大きな期待をされていることを感じます。市民活動は継続性が大切です。これからも力を合わせていきましょう。

『がんばらないけど、あきらめないまちづくり』



作 / 漆崎 耕次

越前開発駅（えちぜん鉄道）

### 編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「LRT導入にともない、福井の路面電車のテーマソングを創りたいと思っています。興味のある方は・・・連絡待ってます」

清水(副編集長)

「LRV入線いよいよですね」

内田(発行責任者)

「がんばらないけど、あきらめない！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>